

發明、近世製一方號サウイ鶴鷺藥、以興廢陽、日勤房閨外揚、求嗣之名、內娛探春之遊、不俟求嗣而速發薤露之嘆、悼哉、縱使雖有瓦璋之慶、亦及鄭衛之淫乎噫、

附方、陽事衰縮世有賦藥者、而家秘之、

〔重修本草綱目啓蒙三十二〕巧婦鳥

サバキ日本タクミドリ和名ミゾサンザイミソサバ

イ。京。サバ。イ。同上。ミソ。ス。ミ。奥州。ミ。ス。ク。バ。リ。仙臺。ミ。ソ。ツ。グ。野州。ミ。ソ。

ツ。チャウ。防州。ミ。ソ。チャウ。薩州。セ。ン。子。ン。長州。一名工雀揚子方言雙飛。桑飛。鶴鷺。過

羸共子。同。鶴鷺注禽經女鷓。鶴雀同上。鶴鷺說文扛鼓八閩通志。桑錢通雅。訪蒙鳩事物異名。女

工。同上。巧匠秘傳花鏡。蒿唧唧說嵩。襪雀留青新集。十姊妹鳥江村歸田集。相思廣東新語。相思仔同上。

極小ノ鳥、長サ僅ニ一寸許、冬月多シ、雪降ル時ハ人家ニ近ヅキ、厨邊ニ來リ食ヲ索ム、冬ハ鳴ク聲

柴鷓ウグヒス鷓ニ同シテ高シ、身ハ褐ト黒トノ細斑アリ、又黒白ノ斑アルモノヲタカフト云、又鳴ク時尾

ヲ開キ舞ハスモノヲ、尾マワシト名ケ、上品トス、其外斑色品類多シ、春ニ至レバ囀ル聲繡眼兒ニ

似テ高シ、性甚弱ク、寒暑共ニ畏レテ畜ガタシ、

〔喚子鳥上〕

さいさいみそさい共いふ。原がい生五匁五分、入。粉壹匁、あをみ入。

大きき雀半分にちいさいし、毛色赤ぐるく、總身にこまかきふ有、さるづりいろねよく、たかねにて、

おもしろきものなり、かごのうちに、へうたんに錢ほどなる穴をあけ釣べし、其内にとまる、あら

鳥冬より春まで出る、子は夏出る、尤子がいを調法す、飼にくき類にて毛をかはす時分、おほく落

るなり、あら鳥はくるみ壹ついれ、ちらゑにてかふべし、

大。さ。い。い。原がい生五匁五分、あをみ入。粉壹匁、くるみ入。

大ききさいいにばい大きし、毛色さいいにたり、又かやくりといふ鳥を大ききいともいふ

なり、本大ききいめづらしきるいなり、さるづりよし、